

江津高校 × 江津工業高校 × 江津清和養護学校 高校生フリーペーパー

あおはる

52 HEROES

vol. 17

2023.07

Free paper for
students, parents and
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

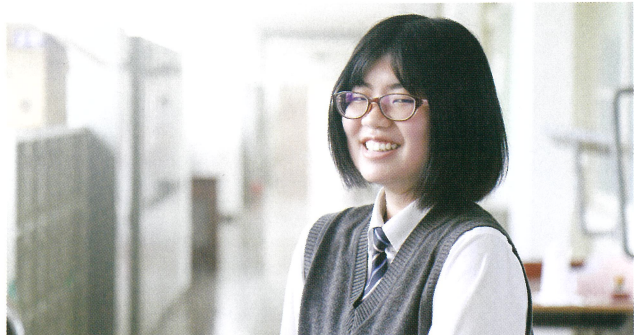
Design: D52



写真：街歩きイベント「江津本町ふらり」にて初のユニットに挑戦



探究活動「つながりプロジェクト」での“挑戦”と“気づき”



思い切って一步踏み出すと そこにはたくさんの学びがあった

3年生 林 遥香 (青陵中学校卒)
茶道部

行動すればそれだけ
発見がたくさんある

中学生の頃は、自分のことを人見知りだ
と思っていました。それが、小学生と交流
するイベントの企画・実行をしているうち
に、「私って人見知りじゃないんだ！」と気
がつき、誰にでも自分から話しかけるよう
な性格に変わりました。

何かを始めるときって不安ですよね。だ
けど、行動すればそれだけ発見がたくさん
あります。高校に入ったらやりたいことを
まっすぐやって欲しいです。今だって自分
達が中心になってやることは苦手ですが、
江津高校でなければ「行動しないと何も得
ることができない」ことを気づけなかった
と思っています。



仲間のお陰で本当の自分に 戻ることができた

3年生 志窪 萌 (江東中学校卒)
書道部・ソフトテニス部

ひとつのことをいろんな角度から
見ることができるようになり
進路も明確に

少人数の中学校出身だったので、生徒の
多い江津高校に入ってから本当の自分を
出すことが怖くなっていました。そんな中、
仲間たちと“総探”に取り組む中で「それ
いいね！」というポジティブな言葉が多く、
自信に繋がっていき、中学生の頃のように
自分を出すことができるようになりました。
“総探”の集大成、“しまね探究フェスタ”
での発表は、大勢の前でも緊張したん
ですが、「あんなに大勢の前で発表できたん
だから大丈夫！」と、小さなことでよく
よめることが少なくなりました。他のチー
ムの発表を見て、「こういう見方があつ
たんだ！」と、視野が広がり、進路を深く
考え直すきっかけにもなりました。



勇気を持って一步を踏み出すことで 進路に多様性が生まれた

3年生 二本木 一歌 (江津中学校卒)
茶道部

子供と関わる仕事って
一つじゃないんだ！

高校に入学した頃は夢や目標が無く、なん
となく子供と関わる仕事に就けたら良いかな
と思っていました。また、地域のイベントに
出るのは怖くて、ためらっていました。でも、
勇気を持って一步踏み出してみました。そう
すると、「人と関わることって楽しい！」と
いう新しい発見があったんです。
地域に出るイベントを仲間と企画をした
のですが、それがとても楽しかった。みん
ないろんな興味関心を持っていることに気
がつくことができて、「私の興味関心ってな
んだ？」とますます考えるきっかけにもな
りました。総探の時間がなければ、私の高
校生活は勉強だけで終わってしまい、将来
に関するヒントを得ることもなかったと
思っています。

“ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ”

島根県立江津工業高等学校

〒695-0011 島根県江津市江津町1477
tel.0855-52-2120
<https://www.gotsu-th.ed.jp/>



新入生歓迎会「ドッチビー」 自己主催による交流の場の提供

建築・電気科 2年生 平岡 善弥 (広島県三原市塩町中学校卒)
バスケットボール部

プロジェクトの実現への 企画の難しさと充実感

今回、自己主催で新入生歓迎会ドッチビー(ドッチボールのフリスビー版)を開催しました。1年生の後半の授業でやってみたいプロジェクトを考える時間があり、そこで出した案を実現させることができました。

なぜ、この企画にしたかという、学校に入ってから、他のクラスや学年と関わるのが少ないと思ったからです。自分自身県外出身で、知っている人がいない環境からの学校生活スタートだったので、他クラスや他学年ともっと関係性をつくれる機会があるといいなと考えていました。

企画や司会をすることは難しかったけれど、当日みんなが楽しんでいるようすを見て、やって良かったと思いました。



ドッチビーの様子

生徒会プロデュース! 2024年度江津工業高校 学校案内の制作

建築・電気科 3年生 小谷 燕士 (浜田第二中学校卒)
バスケットボール部

山本 詩響 (浜田第三中学校卒)
サッカー部



中学生の視点を捉えた 工業高校の魅力の伝え方

山本: 今年生徒会が1から学校案内をプロデュースさせてもらいました。いろんな学校のパンフレットを見る中で、もっとおしゃれで中学生の目を引きたい!という事で雑誌風になりました。

小谷: 目標は江津工業高校が候補に入っていない人に工業の良さを伝えることです。

山本: つくる中で楽しかったのは写真撮影ですね。自分たちで1から決めて自分たちの日常をどう知ってもらおうか考えながら構成を考えるのが楽しかったです。

小谷: このパンフレットをみて、ぜひ江津工業高校も候補に入れてもらえるとうれしいです! 自分自身、中学のときに思っていたより、高校が楽しいです。大阪や広島、大田などいろいろな人が来るから刺激を受けながら過ごすことができました。

山本: みなさんも一緒に江津工業高校でたのしい高校生活をおくりましょう!



企画案を制作会社の方に説明する生徒会メンバー



本校では、地域の人材や地域資源を活用し、
児童生徒の学習の充実を図っています。

島根県立江津清和養護学校

〒695-0001 島根県江津市渡津町 772 番地
TEL 0855-52-2613

<https://sites.google.com/ict.shimanet.ed.jp/gotsuseiwa/>



「Only one」のプライドの育成

～自分に自信をもって主体的に生きる力を育む～

自信につながる力

～地域の方々とのかかわりの中で(part2)～

生活に活かそう 総合的な学習の時間 「防災学習」

R4年度の小学部の総合的な学習では、江津市役所防災課より多幾一平さんをお招きし、年間を通して災害や防災のことについて教えていただきました。

講義だけでなく、実際に防災グッズを使わせていただいたり、地域のコミュニティセンターで、避難所生活の体験等をさせていた

だいたりしました。12月には、防災学習のまとめとしてM/Y防災バッグ作りをしました。

学習を始めた時は、防災について知っていることが少なかつたが、自信をもって答えたりすることができなかつた児童でしたが、防災バッグの中身として災害時を想定した適切なグッズを選んだり、選んだ理由を相手に伝わるように説明したりすることができるようになりました。



使いやすさをめざして スイッチ教材づくり

R4年度のセンター部と中学部では、ポリテクカレッジ島根より椿先生をお招きし、生徒の実態に応じたスイッチ教材試作品を検討していただきました。

今後も引き続き繋がりが、電子情報科と生産技術科で共同開発をしながら、ポリテクカレッジの学生の皆さんの学習の中に取り入れて実践を行う予定にしています。



GO▶GOTSUI
コンソーシアム

NPO 法人てごねっと石見 tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net
担当：藤田 / 齋ヶ原

GO▶GOTSUIコンソーシアムは学校を超えて、様々な人、企業、地域、学校が協働し、お互いがいかに自分に出会うことができる協働の種を探しています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。